

授業改善推進プラン<家庭科>

家庭科における昨年度授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理への意欲が高く、実習にも意欲的かつ安全に配慮して取り組むことができた。 ○個々の家庭環境や経験の違いがあるが、学習した事柄についてはおおむね理解できている。 <p><思考力、判断力、表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○設定された課題について、生活経験を生かして解決方法を考えようとする姿勢が見られる。 <p><学びに向かう力、人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理実習や布製品の製作に対する意欲が高い。 	<p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ●昨年度、感染症対策のため制限が多かったため、技能の定着が不十分であり、家庭実践の個人差も大きい。 ●家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けさせたい。 <p><思考力、判断力、表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現しようとする力が弱い。 <p><学びに向かう力、人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習した知識や技能を家庭で生かそうする態度に課題がある。 ●家族とともに過ごす時間が減少している傾向にある。そのため、家族や家庭の大切さを十分、認識できていない児童もいる。また、「家庭で手作りする」機会も全体として減少傾向にある。

<具体的な授業改善策>

<p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループ等児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを広げ深めたりする場を設定する。 ○問題解決的な学習、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることのできるような授業を展開する。 ○授業、家庭学習にICT機器を積極的に活用し、知識及び技能の定着を図る。 ○「スクールサポートまごめ」と連携し、ミシンの使い方等の技能を確実に習得させる。 <p><思考力、判断力、表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理、製作等の実習や観察、実験など、それぞれの特徴を生かした適切な活動を設定し、実践的・体験的な活動を充実させることで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てることができるようにする。 <p><学びに向かう力、人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「家庭科だより」や保護者会等を通じて家庭に情報を提供したり協力を呼び掛けたりする。また、地域の人材や教材を積極的に活用し、「家庭の一員、地域の一員」であることを実感できるようにする。 ○道徳科の「家族愛、家庭生活の充実」や総合的な学習の時間の「地域学習」などに関連させた教科横断的な指導をすることにより、実生活に生かそうとする態度を養うことができるようにする。
